都道府県別賞一等

みんなの命をみんなで守る生命保険

大分県　佐伯市立直川中学校　三学年

簀戸　紗来

生命保険について何も知らなかった私が生命保険を身近に感じることになったのは、夏休み中に起きた七月二十八日の熊本地震です。夏休み期間中でたくさんの人が地元に帰省し、賑わいを見せていた中、地震は起きました。テレビで建物が一瞬で崩れ落ちていったのを見てひどく驚きました。そんな時に人々が生きていく上で大切になるのは、損害保険の一つで物や財産を対象とする地震保険や、人を対象とする生命保険だと知りました。また、私はあと数年で十八歳、成年となるので、未成年とは違いできることが増えますが、その分トラブルに巻き込まれる可能性も圧倒的に増えると思います。トラブルにあっても冷静に対処し、安心して生活に戻れるように生命保険はあるのだと知りました。

知らないことが多かった生命保険でしたが、身近にケガや病気の経験があったのかを家族に聞いたところ、母は急に高熱が出て入院を余儀なくされたことがあるそうです。また私自身も二歳の時に肺炎になり、一週間ほど入院したことがあると母が言っていました。一見、元気そうな家族も自分も、突然ケガをしたり、病気になったりするのだと驚きました。その時の母や私は生命保険に入っていなかったため、「負担が大きかった。生命保険に入っておけば良かった。」と話していました。

生命保険のことを知って将来の自分について考えるために、ライフプランをたてました。自分の一大イベントの時にかかる費用、毎月の光熱費や水道代、リスクが起きた時の備えまでたくさんのお金がかかることに気づきました。また、自分の将来の収入などを計算するとなかなか大変だと思いました。これからお金の使い方や自分の給与に見合ったライフプランを立て、しっかり見返しながら暮らしていきたいと思います。

名前はなんとなく聞いたことがあるけれど、深く考えたことがなかった生命保険。しかし、今回作文を書くにあたって生命保険を調べていくにつれて、生命保険はいつか襲ってくるかもしれないリスクのために事前に備えておく大切なものだと知ることができました。また、様々な種類があり自分に合ったものを選べるので、手軽にリスクに備えることができます。そして互いに助け合い、みんなの命をみんなで守ることができる生命保険はとても良いものだと感じました。今回深く知ることができた生命保険を上手に活用し、安心で幸せな生活をこれからも送っていきたいです。